

○令和4年度目標達成状況

No.	項目	令和3年度		令和4年度		検証および今後について
		目標値	実績	目標値	実績	
1	福祉コミュニティエリアにおける居住者数（累計）	500人	400人	500人	481人	宅地は令和3年度末時点で全101区画が売却済みとなっている。また、売却された宅地には、概ね、住宅が建設されていることから、居住者数の増加につながっているものと考えられる。 令和4年度以降は、休止中であった介護保険施設3か所が再開したため、居住者数は更に増加することが予測される。
2	市外からの移住者数（累計）	50人	35人	50人	39人	宅地が完売したこともあり、移住者数の伸びは緩やかになっている。今後も顕著な伸びは見られないものと予測される。
3	施設運営に係る雇用人数（累計）	360人	304人	360人	377人	休止中であった3つの介護施設が令和4年度に相次いで再開したことにより、前年度に比べて雇用人数が大きく増加し、目標値を上回っている。 このほか、多世代交流センター内のテナントとして、令和4年6月に訪問看護事業所が新たに開設している。 エリア内の全介護施設が稼働したため、今後は大幅な増加は見込まれず、現状の水準を維持するものと予測される。
4	生涯活躍のまち形成による経済効果	7.69億円	21.01億円	7.69億円	17.84億円	令和3年度で宅地が完売し建設需要が概ね終息したため、前年度の数値よりも減少しているが、エリア内にスーパーマーケット等の商業施設があることから、引き続き目標値を上回ることが予測される。
5	地域福祉の相談件数	72件	47件	72件	75件	前年度を上回る件数となっており、多世代交流センターの存在が定着してきているものと考えられる。介護施設への入居に関する相談も寄せられており、エリア内の施設との連携が図られている。センターで行われている運動・体操等の教室への参加に関する相談も多い。今後も様々な相談に対応できるよう、関係機関との連携に努めていく。
6	ボランティア人数	250人	44人	250人	25人	実績値は前年度を下回っており、令和4年度もコロナ禍によりボランティアの方々に動員をお願いしづらい状況が続いていたと考えられる。 今後、新型コロナウイルス感染症対策による影響が軽減していくとともに、徐々に増加傾向を辿るものと推測される。